

口腔衛生対策講座（第2回）

平成30年10月24日(水)本校大会議室にて、本年度第2回目の口腔衛生対策講座を行いました。講師として、学校歯科医(本校卒業生)の山下聡先生をお招きし、歯科の治療が完了していない1.2年次の生徒を対象に、ご講演いただきました。

今回は特に歯周病について実際の口の中の写真や調査データを用いながら丁寧に教えていただきました。歯周病は全身疾患にも関係する怖い病気であり身近な健康問題として予防すべき病気であること、高齢化社会の日本にとって歯と健康寿命の問題は一人一人が真剣に考える必要があることをわかりやすく説明していただきました。

海外ではすでに口腔衛生についての関心が高く、定期的に口腔内のメンテナンスをしている割合も非常に高いとのこと、日本でも高校生のうちから意識して予防することが大切であり、その予防とは日々の丁寧なブラッシングと定期的なメンテナンスしかない、ということも教えていただきました。

「親のもとでの健康管理から自分自身で行う健康管理へ」もうすぐ社会へ出て行く高校生だからこそ、「自分で選ぶ健康生活」の第一歩を踏み出してほしいものです。



生徒の感想文抜粋

- 歯周病は全世界で一番蔓延している病気で、日本では8割の人が罹っていることを知り驚いた。
- 死ぬまでの間にほとんどの歯がなくなると思うとぞっとするので、20本は残したい。
- 山下先生の講話をお聞きして、早く歯科受診をしなければと強く思った。いくつになっても若々しい歯であるために、定期的に歯医者に行こうと思う。
- 高齢者で自分の歯を20本保つことは難しいが、歯が健康であると社会的で若々しくいることができ、医療費も安く済む等いいこと尽くめであることがわかった。
- 歯を失う原因の大半が歯周病であり、歯周病により心臓疾患や糖尿病等の疾患にかかる可能性が高まる。歯周病はこわい病気だなと改めて知ることができた。
- 歯を支えている骨が溶けるとは思わなかった。歯の寿命は66歳、自分たちの寿命より短いので大切にしたい。また、歯の磨き方に気をつけるとともに、できるだけ定期的に歯医者に行くようにしたい。
- 歯周病がどのような状態なのか写真で示してくださったのでとてもわかりやすかった。GやGOの意味がわかった。歯がどれほど大切かわかった。